

CO・OP

京都の生協

2024/August/No. 112
京都府生活協同組合連合会



「頼もしき隣人たらん」の理念を未来につなぐ

TalkTalk トークトーク

◆京都生活協同組合 理事長 はた 畑 忠 男さん
◆京都府生活協同組合連合会 会長理事 にし 西 島 しま 秀 向ひさ

対談

TalkTalk トークとーく

イタリアのユニコープフィレンツェとの姉妹提携の記念旗の前に



「頼もしき隣人たらん」の理念を未来につなぐ

京都生活協同組合 理事長

京都府生活協同組合連合会 会長理事

西島 忠男
にし じま ひで お

今年創立60周年を迎えた京都生活協同組合。創立以来、助け合いの組織として、誰もが安心して暮らせる地域社会、持続可能な社会の実現に向け事業を展開。その取り組みは、「頼もしき隣人たらん」の理念に象徴されています。今、世界では地球温暖化、絶えない紛争、

格差の拡大、飢餓や貧困などの課題が山積し、私たちの日常生活においては物価高騰への不安もあります。こうした状況の中で、京都生活協同組合が、未来に向け果たそうとされている役割について、畑忠男理事長にお伺いしました。

高度経済成長期に助け合いの組織として誕生

西島 京都生活協同組合（以下「京都生協」）の歴史をお聞かせください。

畑 1964年、11月に前身となる京都洛北生活協同組合の創立総会が、京都下鴨の葵小学校で開催されたのが始まりです。

西島 どのような時代背景だ

ったのでしょう？

畑 新幹線東京〜大阪間の開通や東京オリンピックの開催など高度成長に向かう時代でしたが、公共料金や食料品などで生活物資の値上げが激しく、暮らしへの不安が募る中、「お互いに頼もしき隣人となりましょう」との呼び掛けで誕生しました。以来、助け合いの組織として、食の安全・安心の追求、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組んできました。

西島 私が中学生の頃、京都生協の「家庭係」のお兄さんが家に来られていました。母にCOOPのカセットテープ

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

「頼もしき隣人たらん」の理念を未来につなぐ	2
くらしの安全	
適格消費者団体・特定適格消費者団体・NPO法人消費者支援機構関西（KC's）通常総会・記念シンポジウム	7
適格消費者団体・NPO法人京都消費者契約ネットワーク（KCCN）通常総会・記念講演会	7
第55回京都消費者大会開催	7
介護保険制度改定に係る自治体訪問	7

京都府生協連第71回通常総会開催	8
令和6年度能登半島地震への対応	9
2024年国際協同組合デー 第34回京都集会開催	10
総会だより①	
京都労働者福祉協議会第68回定期総会	11
京都府災害ボランティアセンター総会	11
（一社）京都府食品産業協会定時総会	11
きょうと食育ネットワーク総会	11
ピースアクション京都 2024	12

憲法学習会「憲法改正ってどういうけれど？」	
私たちのくらしはどう変わる？」開催	13
総会だより②	
京都地球温暖化防止府民会議通常総会	13
京と地球（アース）の共生府民会議総会	13
特定非営利活動法人気候ネットワーク総会	13
京都府生協連 第48回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」	14
おもな行事のお知らせ	14



京都府生活協同組合連合会 会長理事
西島秀男

をねだっていたことを覚えて
います。

畑 それは貴重な記憶です
ね。私自身は年代的に家庭係
を経験していませんが、
木箱に商品見本を入れて、御
用聞きのスタイルでまわって
いたと聞いています。196
8年には初の店舗（当時の呼
称は「生協の店」として現
在の「コープ下鴨」（当時は
「下鴨組合員センター」がオ
ープン。1970年代には、
大山乳業さんと開発した産直
せいきょう牛乳がきっかけと
なって共同購入が一気に拡大
し、現在に続く宅配事業へと
発展しました。今もこの牛乳
は京都生協の看板商品であ
り、私のイチオシ商品です。

現在では、宅配・店舗・福
祉・葬祭・共済など暮らしを
支える事業を幅広く展開する
とともに、エリア会、コープ
クラブやテーマコミュニティ
など自主的な組合員活動も多
彩におこなわれています。
西島 レジ袋削減にも早くか
ら取り組まれていますね。

畑 コープ下鴨で、レジ袋
節約運動としてスタートした
のが1983年。1996年
からは全店でレジ袋を有料化



京都府生活協同組合 理事長
畑 忠男さん

し、マイバッグ持参を呼びか
けています。

西島 約40年も前から、環境
への配慮を実践されてきた素
晴らしい歴史ですね。

畑 現在も「プラスチック
包材の削減」「お買い物袋持参」
「宅配内袋のリサイクル」に具
体的な目標を定め、取り組ん

でいます。レジ袋は2025
年に有料配布の取りやめを予
定していますが、「困る人が
出るのでは」との意見もあり、
対策を練っているところです。

西島 エシカルという点で
は、昨年リニューアルされた
「コープ二条駅」も話題ですね。
畑 コーヒー豆、ナッツ、

ショートパスタなどの量り売
りにより、食品ロス削減に貢
献しようとしています。

その他にも、「ゆたかで
たのしく おいしい エシカ
ルマルシェ」のコンセプトを
店舗全体に反映し、組合員の
皆さまに喜んでいただくこと
日々努力をしています。

個配拡大の一方で、共同購入の班も大切に

西島 個人宅配（以下「個配」）
を導入した頃が、転換期だっ
たのでしょうか？

畑 そうですね。個配は1
996年にスタートし、現在
では宅配事業の供給高約70%
に達しています。90年代頃か
ら女性の社会進出が進み、商
品を受け取りづらくなったこ
となどが関係しています。

西島 個配の場合、「人と人
とのつながり」を持つことが
難しい点が気になります。

畑 確かに、共同購入の班
が果たしている地域コミュニ
ティとしての規模は相対的に
小さくなっています。個々の
ライフスタイルや価値観など
を尊重する多様性の時代を迎
え、買い物のシーンでも「個

がメインになる流れにあると
認識しています。一方で、残
りの約30%は共同購入による
もので、他の地域の生協と比
べると高い比率になっています。
これは、京都生協として
共同購入の班がもつ価値を軽
視せず、班の存在を大切にし
てきた証だと自負しています。

※DXの強化と、人と人とのつながりを両立

西島 インターネットでの注
文やアプリの利用も進んでい
ますね。

畑 現在、宅配事業の供給

高の約24%が、インターネッ
トでの注文システム「eフレ
ンズ」によるものです。また、

「KYOTO COOPアプリ」

※DX（デジタルトランスフォー
メーション）デジタル技術を
活用し、人々の生活をより良
いものへと変革すること。



の登録者数は約8万人に拡大しています。これは、宅配の注文、店舗でのお買い物内容の管理などさまざまなサービスを融合したトータルアプリです。

西島 DXの強化にも注力されているわけですね。

畑 一つは物価高騰が続く中、注文用紙や分厚い紙のカタログの経費を抑えるねらいがあります。さらに、アプリは利便性の向上はもちろんです。宅配と店舗の二つの事業をつなぎ、暮らしを豊かに

する提案をより充実させていくことを目指しています。

また、私たちの事業は、いずれも労働集約型のため、人材確保が大きな課題です。DXによる業務の効率化で、「人でなければできない業務」により注力していきたいとの思いもあります。

ただし現在、宅配利用者の15・8%が80歳以上の方なんです。そのため、DXの全面化は難しいですし、長年親しんでいただいている紙のカタログや注文用紙も大切だと考えています。対話による心のつながりといった情緒的な価値も引き続き大切にしていきたいですね。

西島 組合員活動のあり方も変化しているのでしょうか？

畑 コロナ禍で学習会やイベントなどがオンライン開催になり、これまで足を運べなかつた方もたくさん参加されるようになりました。公平な場づくりという点で意義があり、今後大いに活用していきたいと考えています。

一方で、さまざまなテーマで気軽におしゃべりしたり、ちょっとした疑問を投げかけたり。ましてや試食して感想

を言い合うなどの体験はオンラインでは限界があります。

そういう意味では、リアルな場での人と人とのつながりの

大切さを再認識するきっかけになりました。

「頼もしき隣人たらん」の理念を未来へ

西島 「頼もしき隣人たらん」の理念について、くわしく教えてください。

理念として策定する際には、この内容を整理して次のように説明しています。

理念
頼もしき隣人たらん
私たちは、相手を気にか
け、困っていることはとも
に考え行動し、暮らしに寄
り添い、支え合っていく
「頼もしき存在」であり続
けます。

畑 この理念の端緒は、創立時の機関誌『洛北』創立総会特集号で、初代理事長の能勢克男さんが「隣人に対する心持ちを薄れさせず、(中略)お互いに頼もしい隣人となりましょう」と消費者・組合員に呼びかけたことにあります。

意味するところは、地域の中で助け合って暮らしを守り、より良くしていきましよう。一人ひとりが自立しながらも、お互いが頼りになる存在になりましよう、ということ。2020年に改めて

この相手との関係は、組合員さん同士はもちろん、組合員さんと役員、役員同士も指しています。さらに今日的な意味として「持続可能な



保管資料を手に歴史を振り返る

2030年ビジョン 「京都生協は新たな希望をつくる」

西島 2030年ビジョンにどのような意味が込められていますか？

畑 京都生協は高度経済成長期に創立して以来、食品添加物や残留農薬など食の安全

をおびやかす問題、公害による健康被害などがある中で、安全な食や暮らしを求める運



地域

暮らしを豊かにするコミュニティ、
明るく楽しく開かれた自由な場

KYOTO COOP

おいしいを届ける私たち、
希望をつくる私たち

地球

グローバルな視点で暮らしを支え、
持続可能な世界の実現に貢献

新ブランドロゴへの思い

動をおこなってききました。こ

れらの運動や取り組みの成果
のひとつとして、2003年
には「食品安全基本法」が制
定され、食に関わる安全管理
ができる世の中になってきて
います。

つまり、私たちがこれまで
追い求めてきた食や暮らしの
安全・安心は、社会のスタン
ダードになったわけですが、
持続可能な社会が求められる
現在では、新たなスタンダー
ドが必要だと考えています。
そこで、2030年ビジョン
では次のように宣言していま

2030年ビジョン 京都生協は新たな希望をつくる

食や暮らしだけでなく、人への優しさや寄り添う心、人
とのつながり、そして地球に対する「安全・安心」がこれ
からのスタンダードになっていくと確信しています。

次の世代、そしてさらに次の世代へ「安全・安心」な地
球環境を手渡していけるように、組合員や職員そして関係
する全ての人々と力を合わせ、「新たな希望」をつくりま

実現したい姿

- (1) 京都生協の総合力で普段の暮らしへの役立ちを高めます。
- (2) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めます。
- (3) 持続可能な世界の実現に貢献します。
- (4) 多様性を認め合う活力ある組織を目指します。

従来の三つの丸は活かしつ

つ、デザインを一新。黄色の
丸は「暮らしを豊かにするコ
ミュニティ」「明るく楽しく
開かれた自由な場」としての
地域を表していて、水玉は居
場所をイメージしています。

京都生協を表すオレンジの丸
は、「おいしいを届ける私た
ち」「希望をつくる私たち」
を表現。波打つ線は、はずむ
ような気持ちや人と人が手
をつないでいるイメージです。
青の丸は地球。「グローバル
な視点で暮らしを支え、持続
可能な社会の実現に貢献」す
る姿勢を表現しています。格
子模様は経度と緯度を表して
います。

西島 商品のパッケージにも
反映されて、すっかり浸透し
てきましたね。また、職員の
皆さんの活動では「クレド」
がキーワードになっているよ
うですね。

畑 クレドは役職員の行動
指針のことで、理念と203
0年ビジョンに近づくため
に、何をすべきか。その指
針を8つ設定しています。

内容は、生協での経験がな
くてもできることばかりで
す。大切なのは行動に移すこ

と。60周年の今年は、理念や
2030年ビジョンを組織内
外に発信し、未来に向けて飛
躍する契機にしたいと考えて
います。週一回、各職場での
クレドミーティングでは仕事
やプライベートでの出来事を
発表し、意見交換をしていま
すが、引き続き意識の醸成に
努めていきたいと考えていま
す。





理念・ビジョンに近づくための行動指針

C R E D O

1. 私たちは自分から進んであいさつをします
2. 私たちは困っている人に自ら歩み寄ります
3. 私たちは身だしなみの清潔感を大切にします
4. 私たちは相手の話・意見にいつも耳を傾けます
5. 私たちは安全・安心をなにより最優先します
6. 私たちは仕事や暮らしの中での気づきを大切にします
7. 私たちはいつまでも自分を高め成長を続けます
8. 私たちは「チーム京都生協」の精神を大切にします



未来に向けた60周年の取り組み

西島 理事長ご自身が、京都生協で心に響いた経験とは？

畑 日々感激し、感動しています。職員が組合員さんとのつながりの中で、さまざま

な「ありがとう」の言葉をいただくことがたくさんあるんですね。もちろん、ご意見やお叱りの声も多くありますが、それでも感謝や喜びの声を、対面のほか、電話やお手紙、メールでもいただくこと、自分のことのように嬉しいですし、みんなで共有したくなります。

西島 60周年の取り組みについて教えてください。

畑 組合員さんへの感謝を込めて、年間をおして宅配・店舗でのお買い得キャンペーンを実施しています。また、秋には「水辺のキレイプロジェクト」@鴨川、@神崎海岸、@エクト、@神崎海岸、年末の「60th ANNIVERSARY」

ERSARYピアノコンサート」などのイベントも企画しています。

西島 大学生協などの組織との連携も図られていますね。

畑 以前から大学生協とのつながりは深く、最近では、立命館生協や、同志社生協との協同で地域と大学をつなぐ企画を実施し、学生の皆さんからも評価や今後への期待の声が多く集まっています。若い世代との関わりを深めることは、未来への飛躍の着実な一歩になると確信しています。

西島 最後に、現在の物価高騰に対してどのように考えておられますか？

畑 まずは家計にやさしい価格で提供できるよう、可能な限りコストを抑える努力や工夫を日々おこなっていかないとだと考えています。ご存知のように原料や燃料の価格は、世界情勢の影響を大きく受けます。そういう意味でも一日でも早く戦争や紛争が終結し、安心して暮らせる社会が実現することを切に願っています。また、コーヒーやカオ、オリブオイルなどの価格高騰は地球温暖化が大き

畑 そうです。こ

価格高騰は地球温暖化が大き

プロフィール
畑 忠男 (はたただお)



1961年生まれ。京都府出身。1985年、京都生活協同組合に入職。学生時代、大学生協立ち上げに参加した経験もあり、京都生協が生活者の立場に立ち、社会をよりよくするための事業や活動を展開していること、また、民主的な組織である点が入職のきっかけとなった。また学生時代に被爆地である広島を訪れ、平和の大切さを強く意識していたことも、入職への大きな動機となった。入職以来、宅配事業をはじめ店舗事業を経験。執行役員、専務理事を経て、2015年より現職。

な要因となっています。環境負荷軽減の取り組みに、引き続き力を注いでいきたいと考えています。

西島 根本的な解決に向けて努力を重ねる大切さを改めて感じました。本日はありがとうございました。

(写真撮影：豆塚 猛)

通常総会・
記念シンポジウム

適格消費者団体・特定適格消費者団体・NPO法人消費者支援機構関西(KC's)

6月29日(土)、マイドームおおさか8階第1・第2会議室及びオンラインで開催されました。

提案されたすべての議案(2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算など)が可決承認されました。



パネルディスカッションが活発におこなわれました

総会終了後は、記念シンポジウム「消費者法制のパラダイムシフトってなんだ?」を

テーマに、慶應義塾大学大学院法務研究科・鹿野菜穂子教授の基調講演が開催され、つぎに、KC's・片山登志子副理事長(弁護士)、KC's・二之宮義人常任理事(弁護士)、KC's・カライスコス・アントニオス理事によるパネルディスカッションがおこなわれました。2023年度より、当会の西島秀向会長理事が理事長をつとめています。

通常総会・
記念講演会

適格消費者団体・NPO法人京都消費者契約ネットワーク(KCCN)

5月27日(月)、京都司法書士会館で開催され、同ネットワーク・野々山宏理事長よりあいさつがありました。石田郁雄理事が議長に選任され、増田朋記事務局長の進行のもと、総会議事に入り、全議案が可決されました。京都府生協連・高取淳専務理事(当時)に変わり、鮎江賢光事務局長(当時)が理事に選任されま

した。

総会後に京都女子大学・小波秀雄名誉教授・理学博士を

お迎えし、記念講演会が開催されました。「エセ医療と二七

科学は社会をどこに導くか—線虫がん検査と磁気浄水器の

例から—」と題して、講演されました。線虫がん検査、磁

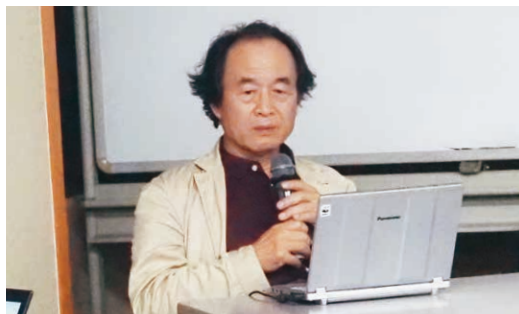
気浄水器を例に科学的な見解から矛盾する点、メディアが

なかなか伝えきれていないことなどを報告されました。質疑応答では、消費者法の観点

でどのような取り組みができるのかなどを意見交流しました。オンラインでも配信され

た。オンラインでも配信され39人が参加しました。

39人が参加しました。



京都女子大学・小波秀雄名誉教授・理学博士

第55回

京都消費者大会開催



(一社) ECネットワーク・原田由里理事

5月26日(日)、京都経済センターとオンラインで開催され、65人が参加しました。

主催は京都府、京都市、NPO法人コンシューマーズ京都で、京都府生協連が後援。

テーマは「『デジタル時代に求められる消費者力』」に求められる消費者力」の情報を、だいたいようぶ?」。

(一社) ECネットワーク・

原田由里理事より「『ネットリテラシーを上げよう』」最新のネットトラブルの傾向と対策」と題して、講演があり、つぎに加藤進二郎弁護士をファシリテータに、龍谷大学政策学部・カライスコス・アントニオス教授、NPO法人コンシューマーズ京都・岡田玲子理事、同志社大学経済

学部2回生松崎亮星さんをパネリストに、パネルディスカッションがありました。

介護保険制度改定に係る

自治体訪問

3月21日(木)、昨年度に続き、2024年4月改定の「介護保険制度」について、

改定された制度内容や課題等をお聞きするために京都市を訪問しました。意見交換では、

生協の福祉事業の活動紹介や情報交換、問題意識の共有などおこなわれました。京都府生協連とともに参加した会員生協は、京都生協・金山修統括

マネジャー、乙訓医療生協・佐藤卓利理事長。訪問先は、

京都市保健福祉局・健康長寿

のまち・京都推進室。京都市からは、「第9期長寿すこやかプラン」(2024~20

26年度)の紹介や、課題としては人材の確保や育成との

お話がありました。引き続き、安心してらせる地域社会づくりに向けて、連携をすすめることを確認しました。

京都府生協連 第71回通常総会開催

全議案を満場一致で可決、役員21人を選任

6月11日（火）、午後1時30分から京都府立社会福祉会館ハートピア京都で開催しました。

今総会の代議員数は45人で、当日の出席は本人出席18人、書面出席27人でした。ご来賓をはじめ、56人が参加しました。西島秀向会長理事が開会のあいさつをのべました。



京都府労働者福祉協議会・原敏之会長



京都府文化生協連・益田結花部長（京都府・西島隆俊知事代理）



開会あいさつをする西島秀向会長理事

つづいてご来賓の京都府文化生協連・益田結花部長（京都府・西島隆俊知事代理）、京都労働者福祉協議会・原敏之会長から、ご祝辞をいただきました。

鮎江賢光事務局長（当時）が、国会議員、各関係団体、各生協からいただいた81通の祝辞や祝電・メッセージの一部をご紹介します。

提案されたすべての議案が、満場一致で可決されました。

員外理事をふくむ18人の理事と3人の監事が選任されました。2024年度の役員体制は左ページのとおりです。

今回退任された役員のみなさん

（敬称略・当時）

- 理事 國見 伸行
（京大大学生協同組合 専務理事）
- 理事 杉江 勇亮
（京都府立医科大学京都府立大学生協同組合 専務理事）
- 理事 堂本 吉次
（やましろ健康医療生活協同組合 専務理事）
- 理事 高取 淳
（員外）
- 監事 鯉迫 裕子
（同志社生活協同組合 専務理事）



祝辞・祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた

（敬称略・順不同・6月11日現在）

- | | | |
|-------------------------|---------------|------------------------|
| 衆議院議員 泉 ケンタ | 衆議院議員 勝目 康 | 衆議院議員 田中英之 |
| 衆議院議員 山井和則 | 衆議院議員 北神圭朗 | 衆議院議員 こくた 恵二 |
| 衆議院議員 本田 太郎 | 衆議院議員 前原 誠司 | 衆議院議員 堀場 さち子 |
| 参議院議員 井上 さとし | 参議院議員 倉林 明子 | |
| 京都市長 松井 孝治 | 京都府議会議長 石田 宗久 | 京都府社会福祉協議会会長 小畑 英明 |
| 京都市社会福祉協議会会長代行 竹下 義樹 | | 京都商工会議所会頭 塚本 能交 |
| 京都府農業協同組合中央会会長 中川 泰宏 | | 京都府森林組合連合会代表理事会長 青合 幹夫 |
| 京都府漁業協同組合代表理事組合長 西川 順之輔 | | 近畿労働金庫理事長 江川 光一 |

当日は3人の代議員から、活発な発言があり、高取淳専務理事（当時）がまとめをおこないました。

発言者と発言テーマ

「私たちの『共生のまちづくり』」



生協生活クラブ京都エル・コープ 平野麻子代議員

「宇治市におけるPFAS調査について」



やましろ健康医療生協 佐藤良太代議員

「2023年度の活動報告について」



全京都勤労者共済生協 飯田淳一代議員

総会後に開催された理事会・監事会で互選により、会長理事に西島秀向氏が重任、専務理事に鮎江賢光氏が就任、特定監事（監事会議長）に長誠一郎氏が重任しました。

2024年度役員体制

6月24日現在（敬称略）

*印は新任

代表理事・会長理事	西島 秀向（員外）	副会長理事	畑 忠男（京都生活協同組合理事長）
副会長理事	姫田 歩 *（京大生協同組合専務理事）	代表理事・専務理事	鮎江 賢光 *（員外）
常任理事	本多 浩（京都市生活協同組合専務理事）	常任理事	風折 昌樹（立命館生協同組合専務理事）
常任理事	上西 良太（乙訓医療生活協同組合専務理事）	理事	浦田 千恵（生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ常任理事）
理事	奥谷 和隆（京都高齢者生活協同組合くらしコープ専務理事）	理事	川村 幸子（員外）
理事	姜 美名（京都生活協同組合副理事長）	理事	上坂 光彦 *（やましろ健康医療生活協同組合専務理事）
理事	清水 泰治（京都医療生活協同組合専務理事）	理事	高倉 通孝（京都生活協同組合専務理事）
理事	蛭田 美幸（全京都勤労者共済生活協同組合専務理事）	理事	筆口 智子（生活協同組合コープ自然派京都理事長）
理事	柳澤 克哉 *（京都橘学園生活協同組合専務理事）	理事	吉田 不二男（京都市民共済生活協同組合専務理事）
特定監事	長 誠一郎（乙訓医療生活協同組合監事）	監事	河野 直（京都生活協同組合常勤監事）
監事	崎濱 誠 *（龍谷大学生協同組合専務理事）		
（事務局）			
事務局長	高取 淳 事務局担当	川端 浩子 事務局担当	岡本 朋子

令和6年度能登半島地震への対応



被災地に向けて出発

1月1日（月）、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生しました。この地震により280人を超える多くの方がお亡くなりになり、全壊した家屋は8500棟を超えました。

京都府生協連は京都府と締結している「災害時における応急対策物資供給等に関する協定書」にもとづき、能登半島地震復興支援のために現地へ赴き、京都市消防局隊員（160人）の食料や飲料を1月9日（火）、12日（金）に京都生協・日本生協連協力の元、京都市消防活動センターへお届けしました。

京都府生協連も加盟する、京都市災害ボランティアセンターでは、京都市災害ボランティアセンターと協力し、3月7日（木）～8日（金）、3

月14日（木）～15日（金）、3月25日（月）～26日（火）、5月28日（火）～29日（水）、6月4日（火）～5日（水）の5回ボランティアバスを運行しました。京都駅からのボランティアバス運行当日、京都府生協連役員は京都駅に赴き、京都府生協連がボランティアへ提供した、ボランティア活動用の支援物資の積み込みや見送りをおこないました。

また、京都府災害ボランティアセンターと加盟団体である浄土真宗本願寺派と協力し、3月30日（土）～31日（日）、5月22日（水）～23日（木）の2回、京都駅からJRで石川県にボランティアを派遣し、ボランティア活動用の支援物資の提供と見送りをおこないました。

災害ボランティア活動サポート募金に京都府生協連から3万円を寄附しました。



続々と集まるボランティアの方たち

2024年国際協同組合デー 第34回京都集会開催

「協同組合間連携をどうすすめるか」をテーマに開催



7月3日（水）、京都JABビルで開催され、JA、JF、森林組合、生協から、会場107人、オンライン13人の計120人が参加しました。

国際協同組合デーは毎年7月第1土曜日を全世界の協同組合員が心をひとつにして協同組合の発展を願い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されました。

京都では毎年、京都府協同組合連絡協議会（JA京都中央会・京都府森林組合連合会・JF京都・京都府生活協同組合連合会）の主催で記念集会を実施しています。

今回のテーマは「協同組合間連携をどうすすめるか」。司会は京都府森林組合連合会・住和宏課長が担当し、JA京都中央会・中川泰宏会長より開会あいさつがありました。



JA京都中央会・中川泰宏会長が開会あいさつ

「地域から考える新次元の協同組合間協同」と題して、関西大学・杉本貴志商学部教授にご講演をいただきました。

参加者からは、「2025年の国際協同組合年を前に、協同組合の歴史から協同組合のあり方や意義を見つめ直すきっかけになりました」「世界と日本での協同組合への評価や関心度の違いをお聞きし、協同組合で働く身として、まず自分自身が、協同組合への関心と学びが必要だと感じました」「日本の協同組合はもつと存在意義をアピールすべきだと感じました」など多くの感想が寄せられました。

各協同組合からは「協同組合の担い手が語る」と題した活動報告がありました。

参加者からは「各協同組合の報告を聞き素晴らしいと思いました。協同組合間協同をすすめることで、何かすごいことが出来るのではないかと感じました」「協同組合間で、お互いの組合員が交流できるような取り組みが出来たらいいなと思いました」などの感想が寄せられました。

閉会にあたり、京都府生活協同組合連合会・西島秀向会長理事が「2025年の国際協同組合年に向けて、協同組合間連携をさらにすすめることで盛り上げていきましょう」とあいさつをのべました。



京都府生活協同組合連合会理事・西島秀向会長が閉会あいさつをする

総会だより①

京都労働者福祉協議会第68回定期総会

5月23日(木)、ラポール京都(京都労働者総合会館)で開催されました。

京都労働者福祉協議会(京都労福協)は、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!」をスローガンに掲げ、行政や労働団体などの関係団体と連携し、勤労者福祉の向上などさまざまな活動を展開しています。提案された「2023年度活動報告・会計報告等」「2024年度活動方針・予算」「役員体制」等の議案すべてが承認されました。京都府生協連では鯉江賢光専務理事を理事に派出しています。

京都府災害ボランティアセンター総会

5月26日(日)、ハートピア京都3階大会議室とオンラインを併用して開催されました。提案されたすべての議案について審議され、承認されました。同センターは、2004年に発生した台風23号による災害の教訓をいかし、被災地で円滑なボランティア活動をおこない早期復旧に尽くすことを目的に2005年に行政・民間団体・社会福祉協議会等による公・民協働、常設の災害ボランティアセンター組織として発足しました。京都府生協連は正会員として加盟しており、当会事務局長が副代表をつとめています。

(一社) 京都府食品産業協会定時総会

6月17日(月)、京都ブライトンホテルで開催されました。

提案された第1号議案「令和5年度事業報告及び財務諸表承認の件」第2号議案「役員補充選挙の件」などすべての議案が承認されました。

総会後に永田会計事務所・永田健所長による「物価・賃金・税負担拡大時における中小企業のための経営戦略セミナー」と題した研修会がありました。

京都府生協連では、畑忠男副会長理事を理事として派出しています。

きょうと食育ネットワーク総会

7月3日(水)、オンラインで開催されました。提案された第1号議案「令和6年度事業計画について」第2号議案「役員を選任について」のすべての議案が承認されました。当会事務局長が幹事に選任されました。

《記念講演》

「地域から考える

新次元の協同組合間協同」

2025国際協同組合年を目前にして

関西大学商学部教授

杉本 貴志 氏



協同組合の担い手が語る

J A・J F・森林組合・生協から
活動報告がありました

「地域住民とのつながり創り
J Aにしかない、ふれあ
い活動」

京都中央農業協同組合
乙訓支店支店長

秋山 健志 氏



「タータンから漁業経営確
立への取組」漁業の海に飛び
込んだ10年の歩み」

京都府漁業協同組合舞鶴支所

高田 亮 氏



「京丹波町における森林
教育の取組」

京丹波森林組合

岩井 悠人 氏



「コープ二条駅店 改装オ
ープンについて」

京都生活協同組合
店舗運営部マネジャー

吉田 博信 氏



ピースアクション京都 2024

6月21日(金)、京都府生協連のよびかけで
生協組合員約50人が、ピースパレードに参加



京都府生協連・鯉江賢光専務理事、京都生協・畑忠男理事長、京都府生協連・西島秀向会長理事、同・川村幸子理事、京都生協・姜美名副理事長が先頭をきって行進

6月21日(金)、「2024年ピースパレード京都」が取り組まれました。「平和と核廃絶の願いをもちより、広島・長崎での世界大会につなげよう」との趣旨ではじまった京都の生協のピースパレードは今年で40回目をむかえました。京都府生協連のよびかけで、京都生協・京都高齢者生協くらしこぼなどのほか、鳥取県の生協からの参加もあり、組合員・役員約50人が「今ある平和はたからもの未来をつくるのはわたしたち



鳥取県の生協のみなさんも一緒に



京都生協のみなさん

「戦争も核兵器もない社会をめざして！」をテーマに「NONUKES 核兵器はいらない！」のプラカードを掲げ、街ゆく人びとに力づくよくアピールしました。多くの観光客のなかを、東山区の蹴上から三条通りを進行し、三条大橋を渡り、河原町通りを北上して、京都市役所へ。平和の象徴である鳩を折り紙で作り、沿道の海外からの観光客などに配りながら、平和をアピールするなど、華やかな行進になりました。

総会だより②

京都地球温暖化防止府民会議 通常総会

6月29日(土)、会場(キャンパスプラザ京都)とオンラインを併用し開催されました。2023年度事業報告と決算、2024年度事業計画と予算等、5つの議案が承認されました。平成31年度の方針では、

総会終了後は、理事で龍谷大学政策学部・的場信敬教授を講師に、「欧州の脱炭素地域づくりと市民参加」をテーマに講演をお聞きしました。

京と地球(アース)の共生府民会議 総会

7月2日(火)、オンライン形式で開催されました。京都府総合政策環境部・岡本孝樹部長より開会のあいさつがありました。令和5年度事業実績報告および令和6年度事業計画等、すべての議案が議決されました。事業計画では、令和7年2月1日開催予定の京都環境フェスティバル、環境連続セミナーの開催等について報告がありました。その後、構成団体による活動状況・取組事例についての報告がされました。当会議は、京都府生協連を含む46の団体で構成されています。

特定非営利活動法人気候ネットワーク 総会

6月18日(火)、オンラインで開催されました。浅岡美恵理事長より開会のあいさつがあり、田浦健朗理事から議案提案がありました。2023年度事業報告・収支報告および2024年度事業計画・予算等、すべての議案が議決されました。オンラインでの開催ということもあり、全国から多くの方が出席されました。



京都府生協連・
西島秀向会長理事

ゴールとなった京都市役所前では、まとめ集会がおこなわれ、京都府生協連・西島秀向会長理事が生協を代表して、「平和なくして、よりよい生活はありません。くらしのなかから平和を語り、考えあう活動を進めていきたい。核兵器をなくそう」という想い

を込め、これからも共に一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います」とあいさつをおこないました。ピースパレード終了後、京都府生協連のよびかけで、ピース交歓会を、コープ御所南ビル会議室で開催しました。平和を願う想いやメッセージを出しあい交流を深めることを目的に開催。東京からの通し行進者・大村美恵さんのあいさつをはじめ、鳥取県生協連など生協関係者や、京都原水協関係者等がメッセージを発言し、交流を深めました。22人が参加しました。



龍谷大学・
奥野恒久教授

5月28日(火)、京都テルサ東館2階セミナー室とオンラインで開催し、会場19人、オンライン約59人、合計78人が参加しました。京都生協、NPO法人コンシューマーズ京都、京都府生協連が共催しました。講師は、龍谷大学政策学

部・奥野恒久教授。憲法とはどのような法か?について説明があり、国民主権や平和主義、どのように憲法を読み解けばいいのか、憲法と法律の違い、いま日本の国会で起こっている事などについて、わかりやすくお話がありました。

参加者からは「憲法改正をおこなうのは国民主導でなければいけない事がわかりました。平和国家であり続ける事、憲法九条を正しい解釈の上で守る重要性を感じました」「選挙があるからこそ国民の声を聞く」との言葉が印象的でした。問題意識を持ち、投票する事の大切さを改めて感じる事ができました。今回の学習会で憲法を身近に感じるきっかけとなりました。「憲法」と聞くと、正直難しい。と聞いています。しかし、奥野先生のお話は日本国憲法の特徴が見えてきて分かりやすいお話でした」などの感想がありました。

憲法学習会
「憲法改正っていつ頃? 私たちのくらしはどのように変わる?」開催

京都府生協連 第48回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ 2024年度 会員生協の活動方針の交流



京都生協・
富田晋悟 統括マネージャー

4月9日(火)、コープ御所南会議室とオンラインで開催し23人が参加しました。京都府生協連・西島秀向会長理事が開会にあたってのあいさ



生協コープ自然派京
都・清水大丘 常務理事

つをのべ、高取淳専務理事(当時)がコーディネイターをとめました。

今回は会員生協から次年度方針の重点課題について報告



やましる健康医療生協・
堂本吉次 専務理事(当時)

を受け、全体交流しました。会員生協からの報告は、地域、医療、職域、共済、高齢

者、大学のそれぞれの分野から、8生協が報告しました。

参加者からは、「やましる健康医療生協の地域の方の『困っている声を拾う』という言葉が印象的でした。人と人のつながりを大切にする居



京都府庁生協・
本多浩理 理事長

場所づくりとして、3人以上のグループから利用できるコープクラブをご利用いただけたいと思いましたが「商品の値上げに関して、悩ましいところはより良い暮らしを守るため



全京都勤労者共済生協・
蛭田美幸 専務理事

不可欠です。利用増加での収入増を実現しようと思えば、当然従業員数も増やさなければならず、値上げは避けられないとの認識です。組合員満足と事業継続のための我慢を



京都高齢者生協くらしコ
ープ・奥谷和隆 専務理事

お願いすることのバランスに悩むところです」「今回初めて医療生協、職域生協、高齢者生協さんから活動方針を伺いましたが、それぞれの組合さんの現状や取り組み、課題などがわかり大変勉強になりました



龍谷大学生協・
崎濱誠 専務理事

した。特に事業内容が同種の組合間であれば参考となる事例があり、場合によっては連携することも可能で、非常に有意義な交流会だと思えます」などの感想がありました。



京都橘学園生協・
友金一 専務理事(当時)

おもな行事のお知らせ

2024年度京都府総合防災訓練

日時：10月27日(日)午前

会場：主会場・陸上自衛隊福知山訓練場、他

※京都府生協連は緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合

「第23回役員体験・交流学校」

主催：京都府協同組合連絡協議会
(J A 京都中央会・森連・J F 京都・生協連)

日時：9月19日(木)13:00～

会場：京都生協コープ二条駅店など(予定)

テーマ：「京都の生協の事業と活動を学ぶ」

京都環境フェスティバル2025

共催：京都環境フェスティバル実行委員会

日時：2025年2月開催予定

会場：京都府総合見本市会館(予定)
※京都府生協連は会員生協の環境商品、取組み紹介で出展予定。

京都消費者問題セミナー

日時：12月10日(火)10:00～12:00

オンライン開催
テーマ：「デジタル時代に求められる消費者力とは(仮題)」

講師：西田公昭氏(立正大学心理学部対人・社会心理学教授)

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会
TEL 075(251)1501
URL <http://www.kyotofu-seikyoren.com>

〒604-0857 京都市中京区烏丸通一条上る時絵屋町258番地 コープ御所南ビル4階